

2022年度 自己評価

認定こども園 秋田幼稚園

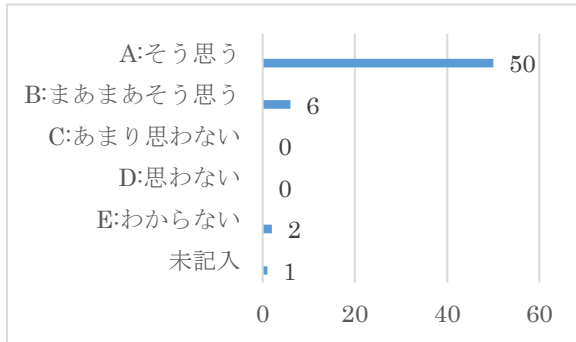
保護者アンケートから

※提出率 92%

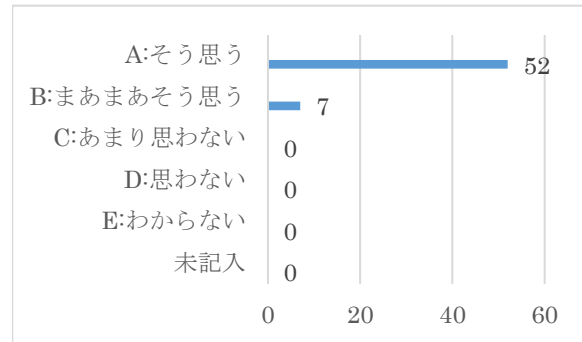
<幼稚園の教育・保育>

○教育・保育方針や内容について

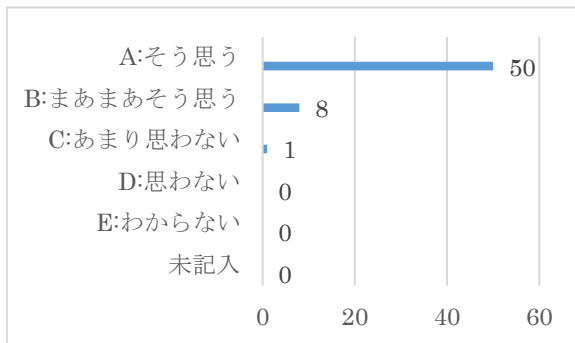
①教育方針や目標を基に、子どもの実態をふまえた保育を行っているか。



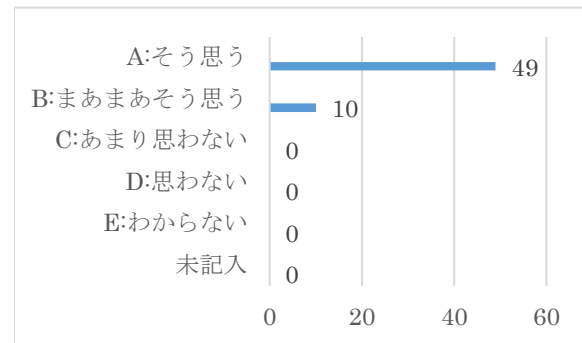
②子どもの興味関心や発達に応じた保育や環境作りを行っているか。



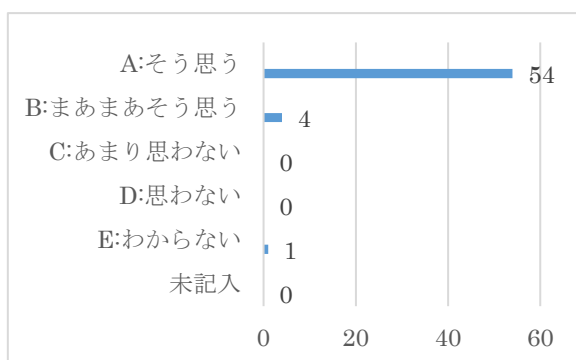
③一人ひとりの子どもをよく理解し、丁寧に温かく関わっているか。



④行事は子どもの生活や遊びがより豊かになるものを計画しているか。

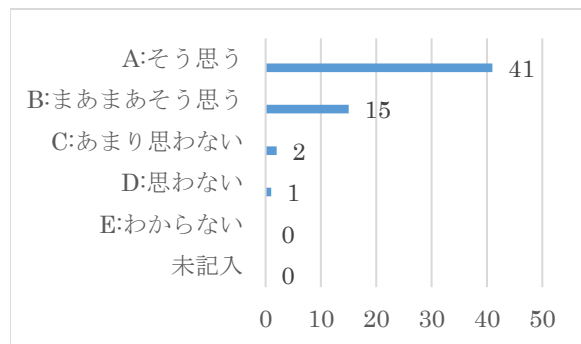


⑤子どもの健康につながる給食や食育への取り組みがなされているか。

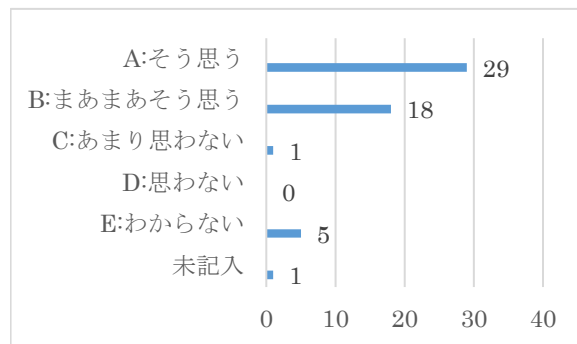


○今年度の重点について

⑥連絡帳、電話連絡、面談などを通して、園と保護者間で情報提供、共有が図られていたか。

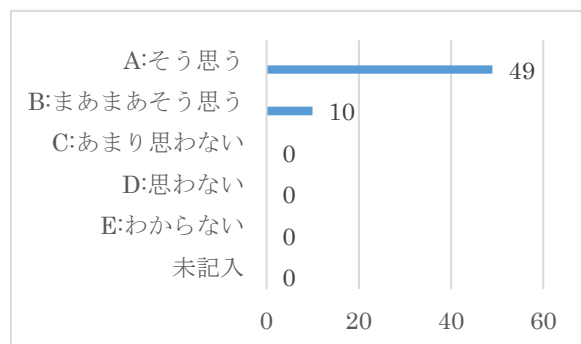


⑦保育や行事、子育て cafe などを通して、園、保護者、地域間でのつながりが広がってきたか。

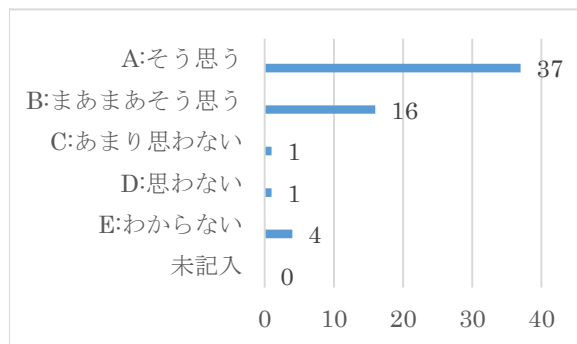


<子どもの様子>

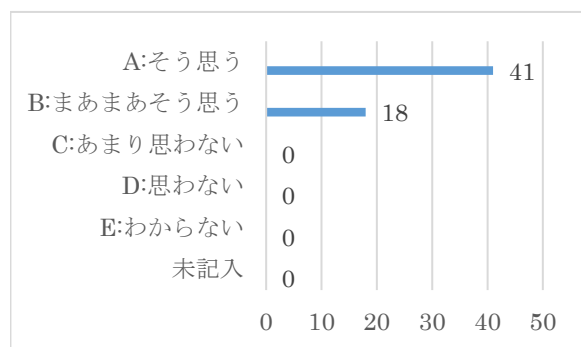
⑧子どもは園生活を楽しんでいるか。



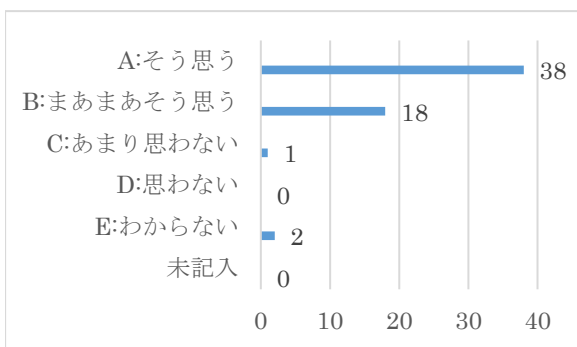
⑨家庭で幼稚園の話をよくするか。



⑩日常的な遊びや運動を通して、体力や運動面の成長を感じるか。

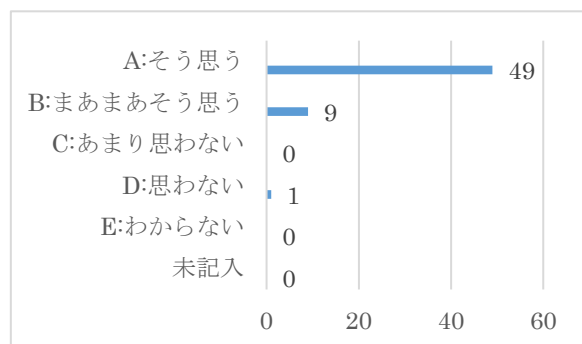


⑪キリスト教保育(礼拝、お祈り、讃美歌、聖書など)の良さを感じるか。

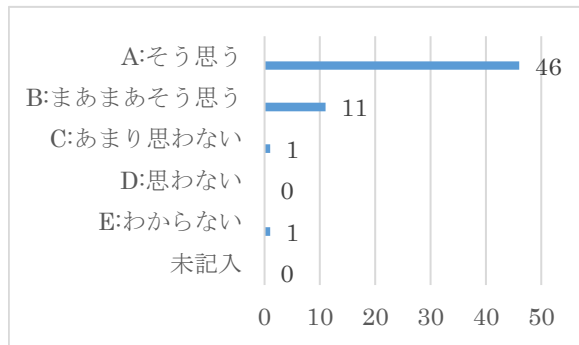


<園と職員>

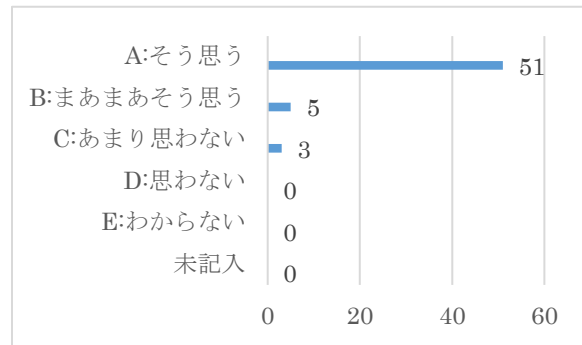
⑫園外保育や園庭遊びなどを通して、自然に親しみ、楽しんでいるか。



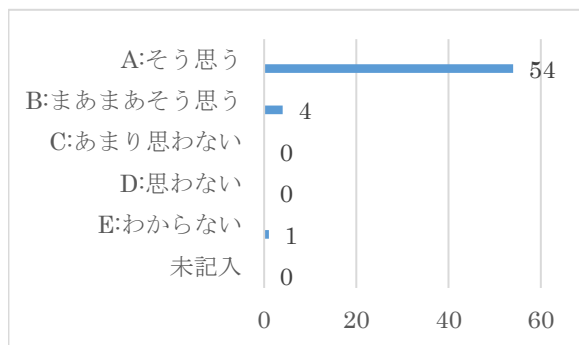
⑬子どもの安全に配慮した環境作りができていますか。(避難訓練・遊具の点検・衛生管理)



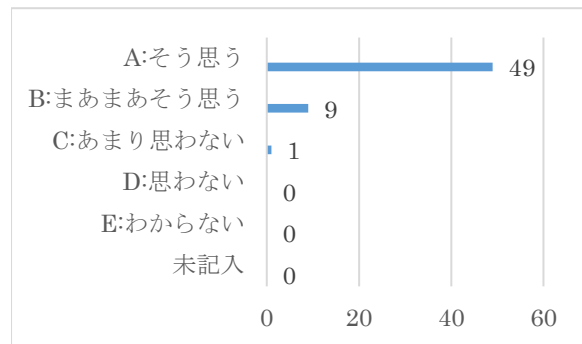
⑭子どものことで教職員に相談しやすい雰囲気であるか。



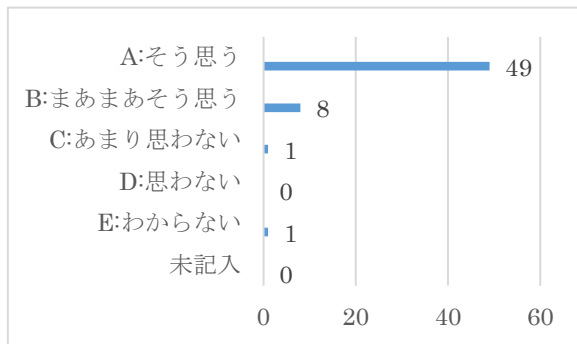
⑮教職員は子どもや保護者に対し、温かく誠意をもって対応しているか。



⑯園だよりやクラスだより、ホームページ等で園の方針や子ども達の成長が伝わっているか。



⑰預かり保育や未就園児の園開放、子育てcaf eなど、子育て支援は充実しているか。



意見・要望と改善策について(抜粋)

○良い点 ●改善点 ☆回答・改善策

<幼稚園の教育・保育>

○去年に比べて、話を聞いて覚えてくれていた事があったので改善されていたと思う。

○日々いろいろなことを学んで成長している様子を実感しています。連絡帳だけでなく、日々の送り迎えでも先生方が情報共有してくださるので助かっています。

○バスに乗って動物園や公園、サッカーなど盛りだくさんのイベントがあり、とても充実しています。

○子ども達の「やりたい事」をのびのびとさせてくれている様子が聞かれ、家ではできない経験ができて楽しそうです。

●たまに連絡帳が返却されず困ることがあった。メールでの連絡は早くて助かっています。

☆園への連絡がしづらいことがあったこと、申し訳ありませんでした。連絡帳は定期的に子どもの様子をお伝えするため、担任が預かりすることがあります。その際にはお電話などでご連絡いただければと思います。今年度、重点事項として挙げている「情報提供、共有」については、特に保護者の皆様の参加される行事等に関する連絡が遅れることがあり、ご迷惑をおかけしました。保護者の皆様の立場になり情報提供をしていく意識を高めていきます。

<子どもの様子>

- 自分で着替える袋の出し入れ、巾着の扱いなど、園で初めて教えてもらい、お家でもやろうとする姿をみると「この年齢でこんなことをやり始めるんだな」と親も教えられ、育てられていると実感しています。
- 毎月の避難訓練をしていただいているので、外出先でチャイムがなると静かにして話を聞くようになりました。
- お祈りする時間、はしゃいでよい時間と「静と動」を子どもなりに使い分ける習慣ができ、キリスト教保育の良さを感じています。音楽会も園外での活動も「本物に触れる体験」を設けて下さり素晴らしいと思います。
- 「幼稚園楽しかった！」と言うことが本当に増えた。アスレチックをするために出かけた先で、幼稚園で教わった歌を歌い自分を勇気づけていた。
- お祈りを通して、周りの環境や人に感謝する気持ちを持つことができたと思います。

●礼拝や聖書の話などキリスト教保育の要素をもっと取り入れてほしい。

☆幼稚園での経験がご家庭につながっている様子を嬉しく思います。キリスト教保育の良さは、キリスト教の行事を経験するだけでなく、日々の園生活の中にあると考えます。お休みしたお友達のために、悲しい時、嬉しい時、勇気が必要な時にみんなで、時には先生と二人きりで祈れることです。卒園後も、みんなと一緒に歌った讃美歌やお祈りが子ども達の力になってくれるよう願っています。

<園と職員>

- 子どもが不安定な時など、連絡を密にして幼稚園での様子も教えてくれるので助かります。
- 先生方をはじめ、通っている園児のみんなや保護者の方々、園バスのドライバーさん方にも優しく接してもらえて(園バス利用はしていませんが)温かい園だと常々感じます。いつも挨拶や手を振ってくれてありがとうございます。息子の毎朝の楽しみです。
- ⑬に関して AAA(トリプル A)をつけてくださった方もおりました。
- 子ども達の保育、教育のみだけでなく、食育や保護者向けの子育て café など、多方面に対して精力的で、とても恵まれていると日々実感しています。給食の内容や園の行事など、お願いしても実現できないのが当たり前の中で、食育に力を入れて下さったり、おかずデリバリーの販売など、園の在り方を常に追求されているのを感じ、とてもありがたいと思っています。先日の音楽会も、子どもが帰宅後、「(楽器について)おっさくて、ぴかぴかで、でっかい音がして、すごかった!!」と大興奮で話してくれました。つたない言葉ではありますが、先生方の蒔く小さな刺激の種を、いろんな芽として摘み取って、毎日あれこれ話してくれる子どもの姿を見ると、素晴らしい園に出会えた日々感じています。

●⑭に関しては、「C」という厳しい評価もいただきました。

☆教職員に相談しにくい、また不安にさせてしまう態度があったことを非常に残念に、申し訳なく思っています。本園の教職員はこれまでも温かい対応を心がけ、またそれができていると自負しておりましたが、今一度態度を振り返り、幼稚園とご家庭とが手を取り合っって子ども達を育んでいけるように努めます。

<その他のご意見やご要望>

- 組に関わらず、どの先生も子ども達のことを理解してくださっているのが秋田幼稚園のすばらしさと実感しています。
- お祈りを通して周りの環境や人に感謝する気持ちをもつことができたと思います。おかずデリバリーの試みなど子どもだけでなく保護者のことも配慮されていると感じました。
- ”お洋服ゆずり愛 Day“の開催がとてもよかったです。あのようなバザーであれば、コロナを鑑みることになりますが保護者の方の負担もあまりないので、やってみることはできないでしょうか？
- 先日、突然「秋田幼稚園さいこー」と家で叫んでいました。会話の中から園を楽しんでいる様子がとても伝わってきます。園バスに園児を置き去りにする悲惨な事件がありますが、秋田幼稚園ではこんな事は起きないだろうと思わせてくれるような園運営をしてくださっていることに感謝しています。これからも、子どもにとっても家族にとっても安心できる園運営をお願いいたします。
- 先日、子どもが「このおもちゃ、幼稚園に持って行きたい！」と出発直前に言い出しました。「玄関で先生に見せたら、ママが持って帰るね。」と言って持たせましたが、園内にも持って行くどぐずるだろうな～と思っていました。しかし、朝の出迎えで先生が子どものおもちゃに気づき、「いいの持ってるね～!」「先生にも見せて～!さわってもいい?」と子どもの“見てほしい”欲を満たしてくれ、私が何も言わなくてもおもちゃを私に渡して、そのまま教室へ向かっていきました。気持ちを十分に満たしてあげれば、こんなにも子どもは素直になるんだなと勉強になると同時に、先生達に受け止めてもらって親の私も嬉しい気持ちになりました。
- コロナで難しいと思いますが、親子遠足や子どもが幼稚園で過ごしている時間をもう少し見たいと思います。

☆今年度、保護者会幹事さんが中心となって初のおさがり交換会「ゆずり愛 Day」が行われました。保護者の方々のアイデアを幼稚園で開催できたことを嬉しく思いました。幼稚園とご家庭とで協力しながら取り組めることを、今後も相談していければと思います。

☆幼稚園教育の行事については幼児の負担とならないよう精選することが求められており、日々の保育の充実を第一にしながら、毎年見直しを図っています。感染症が始まった3年前から、とにかく子ども達の日常を守ることに尽力してきました。そのため、保護者の皆様の来園や行事への参加を制限せざるを得ませんでしたので、今年度、全学年の園児、ご家庭揃って運動会を開催できたことが教職員にとりまして大きな喜びでした。行事の計画には常に感染症対策が必要となってしまうりましたが、内容については従来通りに戻せる兆しも見えてきています。来年度に向けては、もっと「親子で活動、親子で楽しむ」機会を作ることで、保護者の皆様も幼稚園で喜びを得られるよう考えていきたいと思ひます。また、保育の様子で気がかりなことがありましたら、参観日以外でも様子を見ていただくことはできますので、いつでもご相談ください。

教職員アンケートから(抜粋) ☆改善策

- ・重点としていた「情報の共有」を分かりやすく行うために、計画・立案を早める。
- ・キリスト教保育を行うにあたり、先生達と教会との関わりを大切にしていきたい。
- ・認定こども園となり、新たになった体制を整えるためにはまだ実践、改善の時間が必要。
- ・研修に参加し学んだことを教師間で共有できるとよい。
- ・保護者の方や地域の方にはより丁寧な説明を心がけたい。
- ・小学校と対面での交流や参観はまだ難しい面があるが、授業や休み時間の様子を撮影してもらって新しい取り組みができた。

☆ 認定こども園としての初年度、様々な変化を想定して体制を作ったものの、スタートして見えてきた課題もあり、試行錯誤を続けてきている。今年度の実践をまとめ、来年度よりよい体制でスタートできるよう、今からできる点についてはすぐに取り組み始める。

☆ 昨年度から課題となっていた「スムーズな情報提供・共有」については、重点事項としたものの、相手の立場に立っての視点が不足していた。また、状況に応じた臨機応変な対応をすることへの意識も足りなかった。早めの情報提供、確実な情報伝達を全教職員で実践したい。また、地域の方に幼稚園を理解してもらえような情報の発信も考えていく。

☆ 教職員の研修には可能な限り参加し、保育についての学びを深める機会をもってきた。しかし、それを他の教師に伝達する機会が少なかった。学びを共有することで全体的な専門性の向上につながると考え、園内での研修に組み入れていきたい。

☆ 他校種との交流は、コロナ感染が始まって以来難しくなっているが、だからこそ就学については丁寧に指導していく必要を感じてきた。今年度より小学校との交流が開始でき、主に就学に向けての情報交換に協力いただくことができた。今後も、小学校とのつながりだけでなく、子ども達の生活が豊かになるための地域でのつながりを積極的につくってきたい。

学校関係者評価(抜粋)

<運営委員からの意見>

- ・保護者の大半が、園の教育・保育方針に賛同し、理解をもって信頼し安心して子ども達を通園させて下さっていることは大いに喜ばしいことであり、教職員の日々の働きの自信となり、励みとなる。しかし、いくつかのアンケート項目では「あまり思わない・思わない」との回答者がいることに心をとめ、できる範囲での配慮、改善をし不安や不満なく、子どもも保護者も共に楽しく過ごせる園生活ができるのが望ましい。
- ・認定こども園として新体制となって見えてきた課題について十分な話し合いをし、次年度に生かして欲しい。そのためにも、教職員アンケートには具体的対策案も同時に記載してもらえば、よりスムーズに次年度への改善策になるのではないかと。

総評 <園長>

- ・日々の保育、園活動の根幹をなす教育・保育目標、またキリスト教保育の理念については、年間を通して学び、実践し、改善していけるよう、現在行っているキリスト教保育の学びの時間をより有効に使えるよう改善したい。
- ・コロナ感染状況の移り変わりに応じつつ、子ども達の活動は可能な限り制限なく行えるよう取り組んだ3年間を踏まえ、今後はご家庭の方々も共に集い、楽しみ喜びを共有できるよう活動を計画していきたい。
- ・認定こども園移行に伴う教職員の体制については、よりよい形を求めて今後も試行錯誤が必要である。会議の時間も限られる中で教職員が考えや思いを出しやすく、また共有しやすくするための工夫が必要である。課題に対して誰かがやる、決められたことをやる、という意識を捨て、一人ひとりが自分の考えをもつ姿勢をもって取り組みたい。